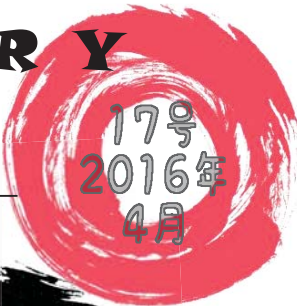


WE LOVE LIBRARY

図書館だより

下関市立大学附属図書館



春がきて、過去を想う

～歴史の楽しみ、再発見!～

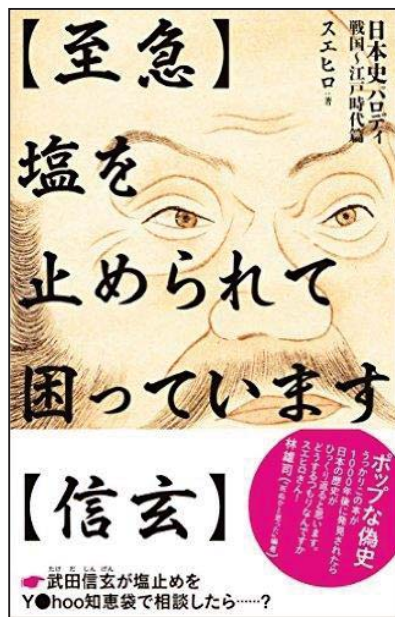
春がやってきました。新しい年度の始まりに、心も体も引き締まる思いするこの季節。

新一年生は新しい環境に戸惑うこともあるでしょう。在学生は新たな目標や夢に心が踊る方も多いのでは？ そんな皆さんに2016年度図書館だよりが最初にお届けするのは、春だからこそあえて過去に目を向けて「歴史って、おもしろい!」と思ってもらえる企画です。

例えば、「真田丸」が好調のスタートを切った今年の大河。主人公である真田幸村という人間が、実は存在しないことを皆さんはご存知ですか？ 大阪の陣で勝者となった徳川家は、自分たちを追い詰めた真田信繁が英雄扱いされないように目を光らせていました。けれど、民衆たちは信繁の活躍を口伝や軍記物で伝えるために、架空の名前である「幸村」とし、想像上の人物という名目で語り継いできたのです。

これらはあくまでも「一説」で、本当のところは今も謎のままですが、当たり前だと思っていた歴史も調べてみると、新しい発見があるかもしれません。歴史に関係のあるものに興味を持つ若い方が増えている今、図書館でも「歴史がちょっと面白くなる」資料を、集めてみました。

【至急】塩を止められて困っています【信玄】



自分は歴史が苦手だという人にこそ読んでほしい。敵に塩を送るという故事成語のもとになった「塩の輸送を止められ、海のない甲斐にいる信玄が困っていたところ、ライバル関係であった謙信が塩を送り、この窮地を救った」というできごとを、もしも信玄がY●hoo 知恵袋で相談していたら...? というタイトルのこの本。
お察しの通り、とってもくだらない。くだらないけど、教科書では素通りだった関ヶ原の戦い、本能寺の変、太閤検地などが笑っている間に調べたくなっちゃう1冊。他にも

- ・織田信長がLINEをやっていたら?
- ・赤穂浪士四十七士、討ち入り当日のLINEグループはどんな感じ?

などなど、日本史を現代風にアレンジした、一風変わった歴史本。個人的には「初めての本能寺の変チェックリスト」をお勧めします。

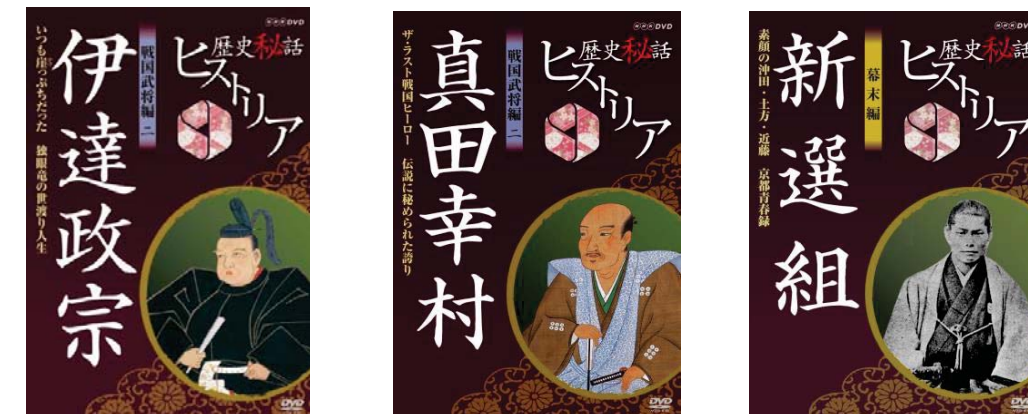
「～の古文書シリーズ」



「ホトトギス」問題で有名な三武将が、それぞれ遺したと言われる古文書をまとめた資料集。古文書なんて読めない!と心配しなくても大丈夫。すべてに解説文がついています。秀吉から淀殿へのでれでれっぷりが伺えるものもあれば、意外と優しい気遣いに溢れている信長の手紙。歴史を大きく動かすことになる家康の書状など、本能寺の変、関ヶ原の戦い、大阪の陣他、戦の影で交わされていた書状や、日常の隙間で綴られた手紙まで収録した珍しいシリーズ。読めば歴史上の存在であった武将たちが、なんだか身近に感じられるようになるかもしれません。



歴史秘話ヒストリアシリーズ



NHKで放送されている「歴史秘話ヒストリア」のDVDを、まとめて購入しました。この番組は歴史上の出来事や人物に、ちょっと変わった視点からスポットライトを当てて、教科書には載らない「秘話」をひもといていきます。「真田丸」で一躍注目されている真田幸村は、物語の中の幸村像と、幽閉され大阪の陣で活躍した現実の幸村の姿から、最後の戦国ヒーローの実像に迫ります。他にも織田信長、徳川家康に豊臣秀吉、直江兼続、上杉謙信などの戦国武将たちや、高杉晋作に新選組、坂本龍馬に中岡慎太郎、西郷隆盛などの幕末志士たち。井上円了という明治時代に活躍した仏教学者であり、教育者であり、なんと妖怪博士だった人物まで! 幅広いラインナップを揃えています。45分で笑えて泣けて、知識も増える。お薦めのDVD作品です。

もつと手軽に、映像で。